

**IDCJ 評価部主催**  
**Stata によるデータ分析の演習**

<https://www.idcj.jp/seminar/statastatistical-analysis-workshop-stata-application.html>

- 【開催日時】 2026年4月24日(金) 13:00-16:30
- 【所要時間/方法】 3.5時間(さらに自由参加の応用編あり 16:30-17:30)、Zoomで実施
- 【主催】 国際開発センター(IDCJ)評価部
- 【使用言語】 日本語(英語で実施する回もあります)
- 【方法】 Stata19 ショートコース版を事前にインストールしていただきます。これはStata19 そのものですが、30日間の期間限定版です。申込受付完了後に、事前にダウンロード先とパスワードをお送り致します。
- 【テキスト】 PDF(パスワード付き)をお送りしますので、印刷してお手元にご準備ください。【使用するOS】WindowsあるいはMacどちらのパソコンでも結構です。
- 【参加条件】 「プロフェッショナル統計分析ワークショップ」を修了された方。もしくは同等の知識を有する方。同ワークショップのプログラムは[こちら](#)をご覧ください。
- 【募集人数】 30名(最小開催人数10名)
- 【申込期日】 2026年4月17日(金) 17時
- 【受講料】 11,000円(税込) 開催決定後にご連絡するPeatixのサイトでお支払いください。
- 【申込方法】 [申込 Form](#)からお申込みください。
- 【講師】 佐々木亮・ウェスタンミシガン大学評価学博士(国際開発センター(IDCJ))
- 【連絡先】 sasaki.ryo(a)idcj.or.jp (メールを出す場合は(a)を@に変えてください)
- 【時間割】 以下の通り計画しています。時間は目安です。

日時		内容	講師
13:00-15:00		Stataの立ち上げとLog記録の開始&終了	佐々木亮
		ヒストグラム、平均、分散、標準偏差	佐々木亮
		対応のあるt検定(事前-事後のt検定(平均値差検定))	佐々木亮
		独立のt検定(2群のt検定(介入群・比較群の平均値差検定))	佐々木亮
		回帰分析	佐々木亮
		Do-Fileの作成と利用	佐々木亮
15:00-15:30		プロビット回帰分析(「はい」「いいえ」の回帰分析)	佐々木亮
15:30-16:30		Stataの国際協力分野の適用事例と演習(3題) ・スーダン井戸給水(事前-事後のt検定) ・ヨルダン平和構築(2群のt検定) ・ミャンマー教育(重回帰分析)	佐々木亮
16:30-17:30 (希望者のみ)		構造方程式モデリング(潜在変数の導入)	佐々木亮